

進学校での体験談厳しい現実

《進学校で疲れました》

将来の夢と学校の指導内容が違い過ぎて疲れました。

中学校の頃、夢があったのですが、塾に行き始めて「いい高校や大学へ行った方がいい」と言われるまま、頑張って進学校に受かりました。

最初は大学進学を考えていたのですが、1年の後半あたりから授業について行けなくなり、「やっぱり美容師になりたい」と思い始めました。

しかし、進学校のため、専門学校の知識のある先生がいません。

三者懇談でも、「私は専門学校の事は分からないので自分で調べて決めて下さい」と突き放されて母もあきれていました。

実際1学年360人のうち毎年3人未満が就職又は専門学校残りは大学又は短大です。

2年の3学期の今、周りはほとんど勉強勉強、授業もセンターを意識したレベルになってきています。

また、人間は学歴が大切で、いい大学に行った方がいい人間のような教え方をしてる先生も多くて、先生のほとんどは、いい大学に進学する生徒以外は興味がないようです。

私は、いい大学に行った方がいい人間だとは思わないし、やりたい事を見つけて好きな仕事を頑張ってる人になりたいです。

だから周りに流されず私は専門学校を受験したいです。

同じ学校の友人の中にも、勉強はついていけないからとあきらめて別の道を探している人もけっこういます。

良い大学ばかり言われると、良い大学へ行けない人は、みじめになりますし、どうせ行っても意味がないと思ってしまう友人もいて、どんどん追い込まれています。

しかし授業は相変わらずセンター対策中心です。

専門学校の入試には学力試験はなく、適性検査(SPI)です。

なので私の対策には全くなりません。

卒業するためには、センター対策についていかないと卒業出来ないと言われましたが、まだ後1年もあるので、もう疲れてしまいました。

結局、進学校なんて、良い大学へ行く一部の人のための大学受験道場のような所で、私のような人間にとっては、なにも価値がありません。

《高校は自分で決めてね》

私は、高校の合格者数とかを宣伝に使う塾はいやだったのですが、友達から無理やりにさそわれてその塾へ入りました。

成績はもともと良かったので、入るとさっそく「・・・高校を受けなさい」のような雰囲気になり、まわりも洗脳されたようにその雰囲気、成績の悪い人をバカにしたり、今考えるとあのテンションは普通ではなく、性格まで変わってしまった友達もいました。

先生たちは、よその塾を批判したり、友達を連れて来いと言ったりで、ただ時間が長く宿題が多いただけ、だれでもやれるような方法でした。

私は、コツコツやるタイプですから、自分では1ランク下の高校を考えていたのですが、塾の先生はああだこうだと言って説得します。

親もそれに巻き込まれて、とうとうその高校へ。

でも、私の不安は当たりました。

最初からぜんぜんついて行けませんでした。

ほかに頼る所がなかったので、その塾にも質問や相談に行きましたが、高校のことや大学受験のことはあまりわかっていないようで、私は普通に相談しているだけなのに、ただ責任逃れのようなことを言うだけで、あとは適当にごまかしていました。

今、高校2年生ですが、ものすごく後悔しています。

進学校では、成績が悪いと不安ばかりで、たとえば、

「自分の勉強方法はこれでいいのか？」

「成績の良い人、どうやって勉強しているのだろう？」

「良い大学なんてとても無理！」

など、勉強していてもこんなことばかり考えてしまいます。

中学生の人はほとんど塾へ行っていると思いますが、私のようにならないためにも、自分の意志で高校を決めて下さいね。

塾に言われても、ぜったいに自分の意志を通して下さい。

高校でついて行けなくなったら、ほんとうに苦しいです、つらいです。